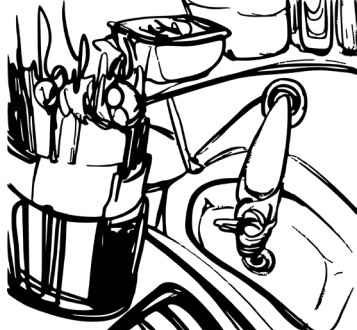


家がある

壁に罅 砂糖に蟻

テレビはつけっぱ
ドアも空きっぱ



喧嘩も住んでる 成長も住んでる

礼儀も住んでる 笑顔も、それなりに

植木も、不燃ゴミも 小学生の頃のノートも

お気に入りの鞆と黒いペン

枯れたので株だけ残った
屋根のようだった梅の木

かつて登っては
落ちたりした
いくつかの感動、涙

響く声 遊ぶ草
揺らしてる思い出に

今一度
ありがとう

上がるエスカレーター

下りそうになった自分は

一時間遡ったら現実から逃れようと

責務放棄中でした。

没頭するなら一つドジかまし

人を笑わせよ、なんて

狙いもしない

得

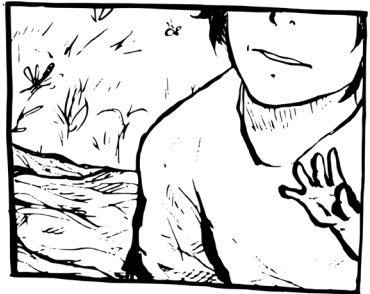
子の見上げる
空は不思議

MISTERIOSO
É O CÉU
DA CRIANÇA



TANTO
QUANTO
AS LÁGRIMAS...
QUE SEGURO
AGORA.

私が
堪える
涙も
不思議



MISTERIOSO.
不思議だ。



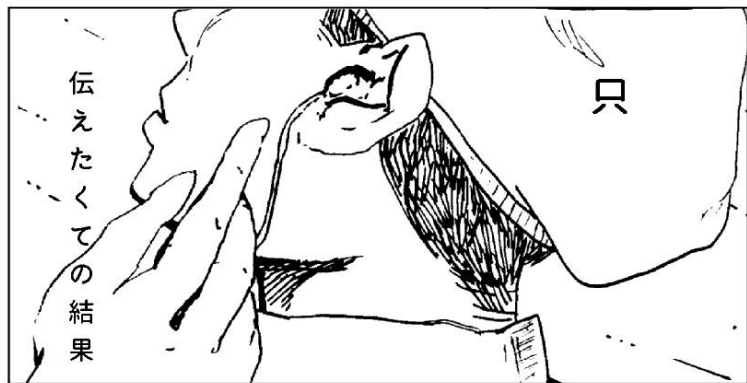
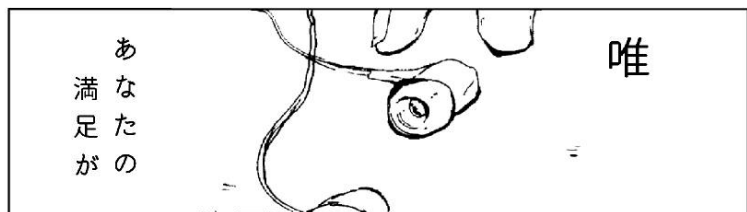
夏の通り雨に任す気分様

木々に耳済ませば

重たげに雫を
溜める音

思い出したかのように落ちた

それが想いか



深呼吸で咳き込んだ

んだよ全く台無しだな

もう一度 肺に息を

溜め込めた そいではいた

たまに忘れるんだ

これ、できるってこと

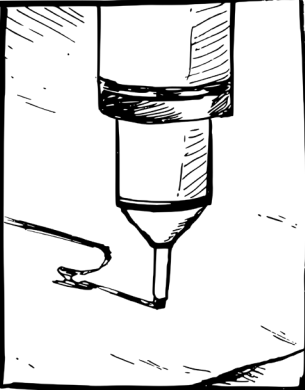


時々しょっちゅう、
GERALMENTE,



ME FALTA PLANOS.

計画性が足りぬ。



...MAS

だがしかし

そう
悪くは
ない
気も
する。

NÃO
QUE
NÃO
GOSTE.





ふちへついたら

舞うのだろう

紙飛行機



つなばり

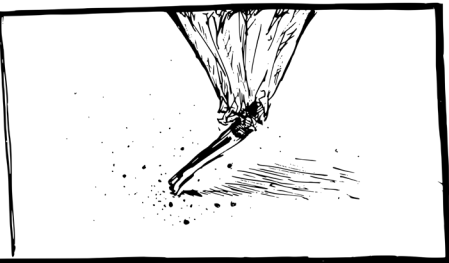
610

mekoTombo

全体を代表する一部があったりする



SÃO
EXCEÇÕES.
例外ばかりだ。



大きくなくてもいいと
思っている、確かな芯さえあれば。
何に打たれてもぶれない柱があれば。

たとえるなら、
かの先生が生徒を教える情熱に似たものさえ、
あれば。

皆を巻き込みたくない
生き方をこころがけていた頃は
人についてなにもわかっていなかった。

今もわかっているなんていえないけれど

せめて道連れにする覚悟は
できている。



心底恋しい人がいる

その人の幸せに

私は必要ない

私も

その人のため
死ぬつもりはない

あなたそう願ってないもの

nekoTomBO



nekoTomBO